

全身疾患と歯科治療

～健診データ・お薬手帳を活用する～

日時 8月30日(日)14時～17時

会場 兵庫県保険医協会会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階)

講師 尼崎中央病院 歯科口腔外科部長 佐々木 昇 先生

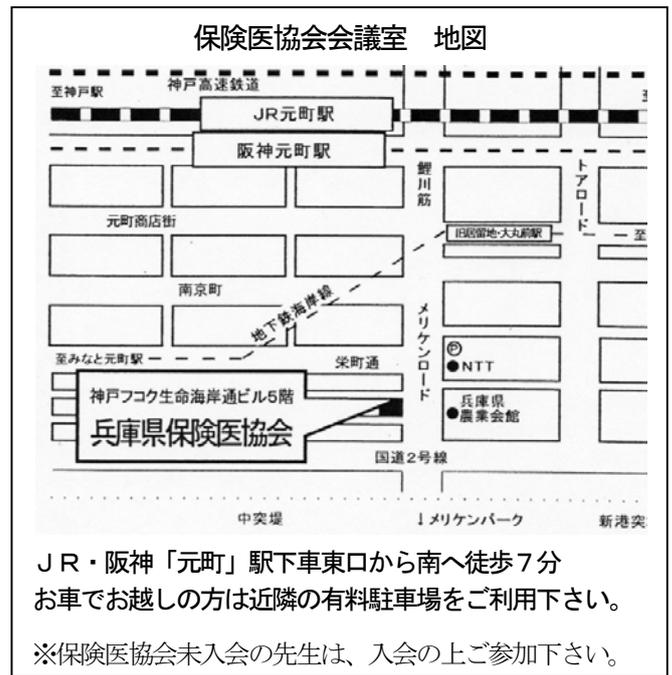
対象 歯科医師、歯科衛生士

定員 80人 (先着順。要事前申込)

会員医療機関・無料

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申込み下さい。
会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。マスクはご持参下さい。

日本では人口の高齢化が待たなしで進んでいます。また医療の発達是有病者人口の増加にもつながっています。何らかの持病を抱えて歯科を受診する患者さんは確実に増えています。安全な歯科治療を提供するためには、患者さんの全身状態を理解し、他科から処方されている薬剤についての知識をもっていることが必要不可欠です。また近年よく叫ばれる医科歯科連携を有機的なものとするためには、歯科医師は医師の語る医科的事項を正しく理解し、歯科的事項を医科ベースで語るなければなりません。そのための第1歩として、検査データの解釈や薬の知識についてお話しします。【佐々木記】



参加申込書

8月30日 歯科定例研究会に参加します。

(返信 FAX:078-393-1802 TEL078-393-1809)

地区 () 市区町 () 医院名 ()

電話 () FAX ()

参加者氏名 () 職種 ()